

# 生きものがすみやすい農法への 転換による農村環境の保全

—生物多様性保全機能—

## やしろ 八代地区



冬期の水田で休むナベヅル

八代地区は、本州唯一のナベヅル（国の天然記念物）の越冬地である。ナベヅルの生息環境、自然環境等を保護しながらほ場整備事業や農村環境の再生に取り組んでいる。

ほ場整備事業では、ナベヅルの保護に向けた調査の実施、水場の設置、ナベヅルの飛来期を避けた工期の設定など、ナベヅルの生態や生息環境に配慮した事業が進められた。



しゅうなん  
山口県周南市



化学合成農薬・化学肥料  
削減栽培によるお米  
「八代のつるの里米」

### 〔生物多様性の保全、伝統文化の継承〕

水稲の化学合成農薬・化学肥料削減栽培や冬期湛水により、ツルやその餌となるドジョウ等の生息環境の保全に取り組む。また、一般ボランティアが参加してのツルのねぐら整備や伝統的な農村景観として「のう」（わら積み）の作成を行うなど、ツルを保護する活動に、関係団体や行政、地域住民など多くの人が取り組んでいる。

### 〔体験学習と教育〕

小学生が参加する水辺の学校を開催し、小学生による田植え、稲の収穫、稲こぎ（脱穀）作業等、農業体験やツルの観察等を行っている。

### 〔洪水防止、土砂崩壊防止、土壌侵食防止、河川流況安定、地下水のかん養〕

継続した水稲栽培や冬期湛水を行うことで各機能を発揮している。



一般ボランティアも参加した  
わら積み作業風景



冬季湛水農法  
実証田



一般ボランティアも参加した  
給餌田におけるわら積み作業